



四代目けんた社長の

ヤマモク通信

第11号
2018年2月

■■■このヤマモク通信は私たちとご縁のあった方に隔月発行で差し上げております■■■

◆ジュニアチーム、いったいいくらかかるのか…(汗)。◆

こんにちは！山口木工所代表の山口研太です。ヤマモク通信第11号をお送りいたします。よろしくお願いいたします。

さて、長男(小1)がこの冬、地元の流葉ジュニアスキーチームに入りました。私自身はスキーを全然やっていないのですが、私の妹がずっとやっていて、大学でもスキーを続け、現在は小学校で先生をしています。そんな妹が、私の息子が保育園のときからよくスキーに連れて行ってくれて、小学1年生になり、なんとなしに地元(家から車で5分)の流葉スキー場のジュニアチームに入るようになったのですが、スキーに詳しくない私は、いろんな面で戸惑っております。

まず用具のことを含め、専門用語が多くてわからず、また、ちょうど昨年末、学校が冬休みになるタイミングでチームに入ったのですが、もうそこから冬休みの間は大雪日と元旦を除いて毎日練習で、こんなに練習するものなのかと…。そして、なんと言ってもお金が…。うすうすは感じていたのですが、あらゆる面でお金がかかります。リフト券をシーズン券で購入。当然、子どもの分だけでなく、私たち親の分も。さらにスキーのウェアに競技用のスキー用具。これは子どもが大きくなればまた新調しなければなりません。そしてです。冬休みが終わって1月末からは、毎週日曜日に大会、大会、大会…。飛騨のいろんなスキー場でジュニアの大会があり、そこを転戦していくのですが、大会にエントリーするのにお金がかかり、また、そこで流葉スキー場のシーズン券は使えないので、その都度リフト券を買って…。これが3月中旬まで続きます…。いったいいくらかかるのか…。今は長男だけですが、これが次男まで始めたら…。そして、何年も続けたらと思うと、白銀の世界で、もう冷や汗しか出ません…。



ただ、息子の様子を近くで見て、最初は心配で心配ではなかったのですが、少しずつ上達していくその姿を見ることができるのは、とてもおもしろく、きっとこれは“プライスレス”(値段が付けられないほど価値があるもの)なのだと言いたい聞かせております。というわけで、私はこれからも仕事を頑張ります！

◆編集後記◆

今回もまた最後までお読みいただきどうもありがとうございます！さて、息子のスキーを見ているだけでは飽き足らず、私自身20年振りにスキーをするようになりました。そして、思いました。スキーはサッカーなどと違い、40歳を過ぎて体力がなくても意外とできると。ゴルフといっしょで、スキーも長くできるスポーツのようです。ケガには気をつけて楽しみたいと思います。山口研太

■ヤマモク通信を今後ご希望されない方は、大変お手数ですが0578-82-0489までご連絡をお願いいたします■

【発行者プロフィール】

- ◆名前: 山口 研太(やまぐち けんた) ◆生年月日: 1976年9月26日 ◆血液型: A型
- ◆出身地: 飛騨市神岡町 ◆出身学校: 斐太高校、上智大学(経済学部経営学科)
- ◆家族構成: 両親・私・妻・長男(7歳)・次男(5歳)の6人家族 ◆趣味: サッカー観戦(TVで)

【発行元】

有限会社山口木工所 〒506-1121 岐阜県飛騨市神岡町殿 180-6

TEL: 0578-82-0489 FAX: 0578-82-0472 山口携帯: 090-4831-9047



山口 研太